

常任委員会の審査

各常任委員会を開き、本会議で付託された議案および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長が、24日の本会議で報告しました。

総務 常任委員会

4年度一般会計補正予算など議案13件について審査しました。審査の過程で、史跡盛岡城跡歴史的建造物復元整備資料調査事業の内容および意義などについて質疑がありました。いずれも可決すべきものと決まりました。また、請願1件を審査し、採択すべきものと決しました。

【議案第81号】

令和4年度盛岡市一般会計補正予算（第3号）

問 史跡盛岡城跡歴史的建造物復元整備資料調査事業の事業内容は。

答 現存する資料のみでどこまで復元などの整備ができるか検討するため、立面図、平面図、断面図の3つの基本資料を外部委託で作成する。作成した基本資料は、文化庁と復元（的）整備の協議をするためのものではなく、今後の復元（的）整備を検討するための基礎資料として活用する。

教育福祉 常任委員会

盛岡市立北陵中学校校舎大規模改修工事に係る請負契約の締結など議案11件について審査しました。審査の過程で、工事中の安全対策と周辺住民への周知などについて質疑がありました。いずれも可決すべきものと決まりました。また、請願2件を審査し、いずれも不採択とすべきものと決しました。

【議案第85号】

盛岡市立北陵中学校校舎大規模改修（建築主体）工事に係る請負契約の締結について

問 樹木などで学校周辺の道路が狭い箇所があるが、通学する生徒などへの工事中の安全対策は。また、北陵中学校周辺の滝沢市民に4年間の長期工事を周知し、理解と協力を得る必要があるのでは。

答 学校と相談し、樹木は伐採する計画を立てている。また、チラシを配布し、工事の周知を図るなど、学校やPTAと相談しながら、安全対策などに万全を期して工事を進めていく。

産業環境 常任委員会

4年度一般会計補正予算など議案4件について審査しました。審査の過程で、I F S Cクライミングワールドカップを運営する県実行委員会に係る負担金の内訳や、もりおか企業エネルギーサポート給付金支給事業の要件などについて質疑がありました。いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第81号】

令和4年度盛岡市一般会計補正予算（第3号）

問 もりおか企業エネルギーサポート給付金支給事業について、ガソリンなどの経費が前年同時期比で10万円以上増加していることという支給要件では対象範囲が狭いと感じるが、検討の状況は。

答 原油価格の高騰や公共料金の値上げの影響をより受けている事業者の支援を優先した。事業者支援は市内経済の活性化につながることから、小規模事業者にも行き届く支援策を検討する。

建設 常任委員会

4年度一般会計補正予算、財産の取得など議案5件について審査しました。審査の過程で、公共交通維持支援事業における支援金額の算定根拠や、盛岡バスセンター整備事業で取得する待合室の取得価格などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第81号】

令和4年度盛岡市一般会計補正予算（第3号）

問 市内の路線バス事業者とタクシー事業者へ支給する金額の算定根拠は。また、コロナ禍での乗客数減少や原油の高騰など厳しい状況にある事業者支援に対する市の支援方針は。

答 国が行う燃料の小売価格調査から価格上昇分を算出し、上昇分と車両の燃料使用量を乗じて算出した影響相当額の3分の1に当たる金額とした。国の動向を注視し、事業者支援施策を進める。

新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書

市議会では、2年4月28日に盛岡市議会災害対策会議を設置し、新型コロナウイルス感染症対策に関する調査・要望活動を続けています。6月24日に第10回要望書を市新型コロナウイルス感染症対策本部長に提出しました。

第10回要望書の概要

- ・ 感染対策の徹底の呼びかけ
- ・ 4回目のワクチン接種の円滑な実施
- ・ 働いている世代のワクチン接種推進のための、金曜日・夜間の集団接種
- ・ 高齢者施設、教育・保育施設などでの定期的な検査の継続
- ・ PCR等検査の無料受検の継続実施など12項目



市民の声を広く聞き本部長に要望

寄附行為の禁止

議員が選挙区内の人に寄附することは法律で禁止されています。有権者が求めてもいけません。次のことなどが該当します。

- ・ 議員本人が出席しない慶弔の場に祝儀や香典を出すこと
 - ・ 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ
 - ・ お祭りへの寄附や差し入れ
 - ・ 町内会などの集会や旅行など催しへの寸志や飲食物の差し入れ
- また、答礼のための自筆のものを除き、年賀状などのあいさつ状を出すことも禁止されています。



市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

議会活動レポート

常任委員会が調査を実施

教育福祉常任委員会

5月19日に意見交換会を開催しました。市民生児童委員連絡協議会会長の米田ハツエ氏、副会長の馬場明雄氏、副会長の古内保之氏、市社会福祉協議会地域福祉課主事の田澤敦氏を参考人として呼び、民生児童委員の成り手が不足している現状や、地域住民の情報収集が難しくなっている状況などについての課題が挙げられたあと、課題についての意見交換を行いました。また、同じ日に勉強会を開催し、重層的支援体制について、市地域福祉課から説明を受けました。共に支えあい、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指した支援体制の構築について説明を受けました。



民生児童委員の現状などを理解

総務常任委員会

5月17日に勉強会を開催し、新市庁舎のあり方に関する市民会議と有識者等懇話会の設置や市のネーミングライツ、市の空き家等適正管理事業について各担当課から説明を受けました。新市庁舎のあり方では市民会議などの今後の進め方について、ネーミングライツでは事業概要などについて、空き家等適正管理事業では取り組み状況や今後の対応などについて、それぞれ市の取り組みを調査しました。

産業環境常任委員会

5月18日に勉強会を開催し、廃棄物処理手数料徴収に係る誤処理について廃棄物対策課から説明を受けました。市クリーンセンターで発生した誤処理の経緯や該当件数、情報発信や今後の対応、再発防止策などについて説明を受けた後、誤処理分の手数料の納入に係る事業者への周知方法や、職員の法令遵守を図る方法などについて調査しました。

緊急事態発生時 避難訓練を実施



災害発生時は、まず第一に安全確保を

地震の発生を知らせるブザーが鳴った後、安全確保のために、議席などにあるヘルメットを着用し、事務局職員の誘導により議場の外へ避難を開始しました。



エレベーターは使用せずに階段の使用を

避難するときには、エレベーターは使用せず、階段を使って避難することを再確認しました。避難後は集合場所で点呼を行い、全員の避難完了を確認しました。

市議会では、6月24日の本会議終了後、本会議開会中に大地震などの緊急事態が発生した場合における傍聴者、議員及び職員の避難の手順などを確認することを目的に、緊急事態発生時避難訓練を実施しました。

災害への事前の備えと、正しい防災意識・知識が重要



訓練終了後、中村盛岡中央消防署長と吉田危機管理統括監から講評を受けました。

中村消防署長からは、「事前にヘルメットの調整を済ませ、迅速に正しく着装できるように」と指摘がありました。また、「家庭においても事前に避難場所を決めておくことが重要」と助言を受けました。

吉田危機管理統括監からは、「いつ、どんな災害が起きるか分からないため、正しい防災意識と知識を持ち実行できる準備が重要である。災害が起こっても、“自分だけは大丈夫”という意識から、“自分も危ない”という意識に変えるために、日頃の避難訓練の積み重ねが重要」と助言を受けました。

議員の表彰

全国市議会議長会では、10年以上や15年以上など、長年にわたり議員の職にあった者について、市政の振興に寄与した功績を表彰しています。4年度は5月25日に開催された第98回定期総会において、次の8人の議員が表彰を受けました。

議員在職 15年以上 表彰

鈴木 努
後藤 百合子
藤澤 由蔵
鈴木 一夫
神部 伸也

議員在職 10年以上 表彰

村上 貢一
櫻 裕子
中村 亨

※令和4年5月25日表彰

